

## 「みどりの食料システム戦略」2030年目標の設定について (概要)

「みどりの食料システム戦略」2050年目標に加えて、2030年目標をそれぞれ設定する。

### I. 新たに設定する主な2030年目標

- 2050年：化石燃料を使用しない園芸施設への完全移行  
→ 2030年：ヒートポンプ等の導入により、省エネルギーなハイブリッド型園芸施設を50%にまで拡大
  
- 2050年：化学農薬使用量（リスク換算）を50%低減  
→ 2030年：化学農薬使用量（リスク換算）を10%低減  
(新規農薬の開発は少なくとも10年以上の時間がかかることから、当面の間、病虫害の総合防除の推進や有機農業の面的拡大等を推進)
  
- 2050年：化学肥料使用量を30%低減  
→ 2030年：化学肥料使用量を20%低減  
(土壌診断等やデータを活用した省力・適正施肥といった施肥の効率化・スマート化の推進、家畜排せつ物等の利用拡大を推進)

(以上)